

(仮称)府中市環境センター施設整備工事

審 査 講 評

平成 31 年 4 月

(仮称)府中市環境センター施設整備工事
総合評価審査委員会

目 次

I	本工事の目的	1
II	本工事の概要	1
1	工事名	1
2	工事場所	1
3	施設概要	1
4	工期	1
5	本工事の範囲	2
III	落札者の選定方法	3
1	選定方法	3
2	審査委員会	3
3	落札者選定の流れ	3
IV	審査及び選定の手順	5
1	入札参加資格審査	5
2	形式審査	5
3	非価格要素審査	5
4	価格要素審査	6
5	総合評価	6
6	落札者決定までの経緯	7
V	審査結果の概要	8
1	入札参加資格審査	8
2	形式審査	8
3	非価格要素審査	9
4	価格要素審査	10
5	総合評価	10
VI	審査講評	11
1	非価格要素提案に係る審査講評	11
2	総評	12

I 本工事の目的

府中市で発生するし尿及び浄化槽汚泥は、昭和58年に運転開始した府中市環境センターで処理している。しかし、運転開始から36年が経過し、環境センターは機器の老朽化が顕著である。また近年、浄化槽汚泥比率が高まり、し尿と浄化槽汚泥の比率が施設稼働開始当初と比べて乖離しており、運転方法の調整が必要な状況となっている。

本工事は、環境センターの更新施設となる新たなし尿処理施設として、し尿及び浄化槽汚泥に加え、生ごみの処理を行う汚泥再生処理センターを整備するものである。

本工事に際しては、関係法令等を遵守し、公害防止に十分留意することはもとより、環境にやさしい施設を目指すものとする。また、自然環境や社会環境との調和、周辺地域との共生ができるような配慮を行いつつ、経済性を考慮して整備するものとする。

II 本工事の概要

1 工事名

(仮称)府中市環境センター施設整備工事

2 工事場所

広島県府市中市中須町1513番地及びその周辺

3 施設概要

- | | | |
|-----------|---|-----------------------------------|
| (1) 水処理方式 | : | 前脱水＋希釈（下水道放流） |
| (2) 資源化方式 | : | 汚泥助燃剤化方式 |
| (3) 処理対象物 | : | し尿、浄化槽汚泥、生ごみ |
| (4) 施設規模 | : | し尿 14kL/日、浄化槽汚泥 47kL/日、生ごみ 80kg/日 |
| (5) 放流量 | : | 336m ³ /日以下（5.5 倍量以下） |

4 工期

工事請負契約締結日の翌日から2022年3月31日まで

5 本工事の範囲

本工事の範囲は、下表のとおりである。

	概 要
本施設の建設	本施設の実施設計及び詳細設計
	確認申請等各種許認可申請の手続
	交付金申請手続に関する資料の作成
	施設設置届等に関する資料の作成
	準備工事（インフラ整備等）
	施工及び施工監理
	付帯施設、緑地等の整備
	本施設の試運転
	本施設の性能確認及び引渡し
	本施設の完成図書及びパンフレットの作成
	市が行う近隣対応等への協力
本施設の運営	本施設の運転指導
	予備品及び稼動後1年間の消耗品等の納入
	引渡し後の各種保証
地下残置工作物等の撤去	本施設の建設工事区域の地下残置物の撤去
	地下残置物の撤去に伴う各種許認可申請の手続
既存施設の解体・撤去	解体・撤去に伴う各種許認可申請の手続
	施工及び施工監理
	市が行う近隣対応等への協力
上記項目に付随する業務	

Ⅲ 落札者の選定方法

1 選定方法

落札者の選定は、地方自治法施行令第167条の10の2の規定に基づき、総合評価落札方式一般競争入札により実施した。

2 審査委員会

落札者選定のための審議及び審査等は、(仮称)府中市環境センター施設整備工事総合評価審査委員会（以下「審査委員会」という。委員構成は次表のとおり）において実施した。

審査委員会では、入札説明書や落札者決定基準等について真摯に審議を重ねるとともに、技術提案書について公平かつ厳正に審査及び評価を行った。

区 分	氏 名	所属・役職
委 員 長	西村 和之	県立広島大学生命環境学部教授
副委員長	村上 明雄（第2回から）	府中市副市長
	栗根 誠司（第1回）	府中市総務部長
委 員	崎田 省吾	県立広島大学生命環境学部准教授
	行廣 和治	広島県土木建築局営繕課設備工事担当監
	品川 朋之	広島県東部厚生環境事務所福山支所衛生環境課参事
	栗根 誠司（第2回から）	府中市総務部長
	若井 紳壮	府中市建設産業部長

3 落札者選定の流れ

落札者の選定は、落札者決定基準に基づいた入札参加資格審査、形式審査、非価格要素審査、価格要素審査を実施し、非価格要素審査点と価格要素審査点を合計した総合評価値の点数を算出して行った。落札者決定までの経緯を図-1に示す。

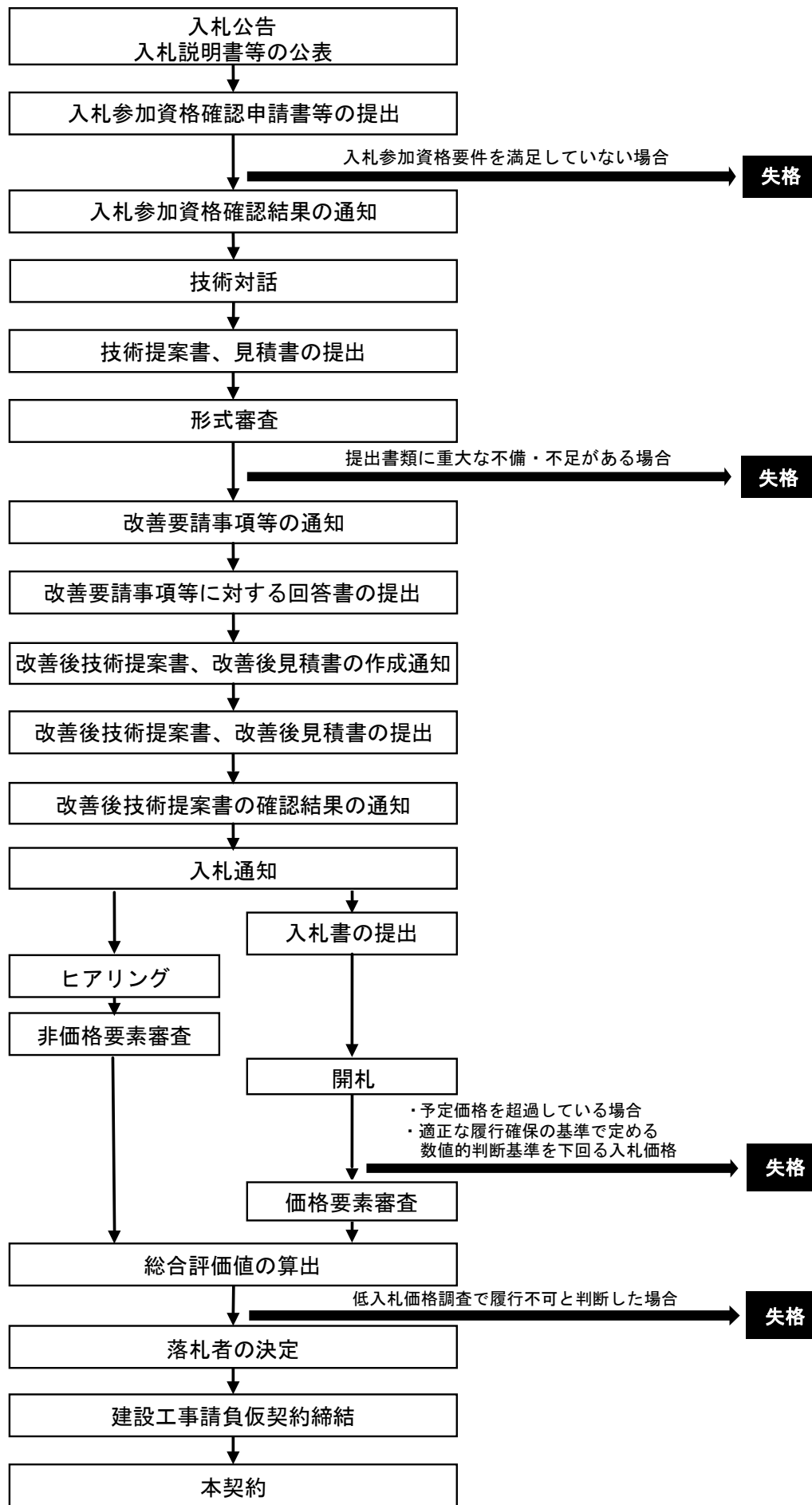


図-1 入札公告から工事請負契約締結までのフロー

Ⅳ 審査及び選定の手順

1 入札参加資格審査

提出された入札参加資格確認申請書類について、入札説明書に記載した入札参加資格要件を満たしているか確認を行った。

2 形式審査

提出された技術提案書類について、以下の視点から確認を行った。

- (1) 必要な書類が揃っているか
- (2) 様式集に従った形式を満たしているか

3 非価格要素審査

形式審査を通過した入札参加者を対象に、非価格要素について審査し、非価格要素点を算定した。非価格要素点の満点は60点とした。

非価格要素審査においては、非価格要素提案書の内容に基づいた評価を実施した。また、入札参加者へのヒアリングを実施した。

入札参加者の非価格要素提案に関する審査については、公平、透明性の観点から企業名及び関連する企業名は一切開示せず、提案を識別するために府中市が指定した名称で分類した。

(1) 審査項目と配点

非価格要素審査の項目及び配点は、以下のとおりである。

審査項目		配点	
1. 施設計画に関する事項	①全体配置計画、車両動線計画	4	16
	②設備・機器等の配置計画、作業動線計画	6	
	③施設の長寿命化対策	4	
	④工事施工計画、品質管理計画	2	
2. 安全・安定稼働に関する事項	①施設の安全稼働に関する実現方策	4	16
	②施設の強靱化対策、災害発生時の対処方策	4	
	③処理対象物の量・質的変動への対応	8	
3. 運転・維持管理に関する事項	①運転管理計画・運転指導計画	4	10
	②維持管理費・点検補修費の低減化対策	6	
4. 環境負荷の削減、周辺環境・地域との調和に関する事項	①省エネルギー対策	4	12
	②周辺環境保全対策	6	
	③施設の外観デザイン計画	2	
5. 地域貢献等に関する事項	①地域経済への配慮・貢献	4	4
6. その他	①その他特筆すべき提案	2	2
合計		60	

(2) 評価基準及び点数化の方法

非価格要素に関する技術提案内容について、上記の「審査項目と配点」に示す審査項目ごとに、下表の評価基準及び点数化方法に基づき点数化を行った。

	評価基準	点数化の方法
A	当該審査項目において特に優れた提案となっている	配点×1.00
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	当該審査項目において優れた提案となっている	配点×0.50
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	当該審査項目において要求水準を満たす程度の提案である	配点×0.00

(3) 非価格要素審査の点数の算出方法

非価格要素審査の点数は、審査項目の評価値をもとに、下式により算出することとした。なお、評価値は各委員の平均値とし、小数点が発生した場合は小数点以下第3位を四捨五入した値とした。

$$\text{非価格要素点} = \text{入札参加者の非価格要素審査項目の評価値}$$

4 価格要素審査

入札書に記載された入札価格について、有効な入札価格（予定価格を超過する入札価格及び府中市低入札価格調査制度運営要綱に基づく適正な履行確保の基準のうち、数値的判断基準（工事費内訳での判断基準）を下回る入札価格を除く）であることの確認を行った上で、下式により価格要素点を算出した。点数は、小数点以下第3位を四捨五入した値とした。

$$\text{価格要素点} = 40\text{点} \times (\text{最低入札価格} \div \text{入札価格})$$

5 総合評価

非価格要素点と価格要素点の合計によって総合評価値を算出し、総合評価値が最も高い者を落札者とした。

$$\text{総合評価値} = \text{非価格要素点} + \text{価格要素点}$$

6 落札者決定までの経緯

落札者決定までの経緯は、表 1のとおり実施した。

表 1 落札者決定までの経緯

日 付	内 容
平成30年3月19日	第1回審査委員会
平成30年4月9日	見積提案の公募開始
平成30年5月31日	参加見積提案図書の提出期限
平成30年6月28日	第2回審査委員会
平成30年7月26日	第3回審査委員会
平成30年8月17日	入札公告（入札説明書類の公表）
平成30年8月24日	第1回質問の提出期限（入札説明書、落札者決定基準、様式集Ⅰ）
平成30年8月31日	第1回質問に対する回答期限
平成30年9月7日	入札参加資格審査申請書類の提出期限
平成30年9月10日	第2回質問の提出期限（発注仕様書、様式集Ⅱ）
平成30年9月14日	入札参加資格審査結果の通知
平成30年9月18日	第2回質問に対する回答期限
平成30年10月2日	技術対話の実施
平成30年10月31日	技術提案書、見積書の提出期限
平成30年12月26日	第4回審査委員会
平成31年1月7日	改善要請事項等の通知
平成31年1月30日	改善後技術提案書、改善後見積書の作成通知
平成31年2月5日	改善後技術提案書の確認結果の通知
平成31年2月28日	入札通知
平成31年3月22日	入札書の提出期限
平成31年3月26日	第5回審査委員会 プレゼンテーション・ヒアリング 開札 総合評価値の確定
平成31年3月27日	落札者の決定・公表

V 審査結果の概要

1 入札参加資格審査

入札参加資格審査では、『入札説明書 VI 入札参加資格要件』に示す入札参加資格要件の充足状況などの確認を行った。

入札参加資格審査の結果、入札参加資格確認申請書を提出した3社すべてが入札参加資格要件を満足しており、表2のとおり合格とした。

なお、“かたくり”からは、平成30年9月25日に辞退届が提出され、これを受理した。

表 2 入札参加資格審査結果

指定名称 審査項目	さくら	あじさい	かたくり
入札参加資格 審査の結果	合格	合格	合格

表 3 入札参加者一覧

	企業名
さくら	日立造船株式会社中国支社
あじさい	クボタ環境サービス株式会社中国支店
かたくり	三井E&S環境エンジニアリング株式会社

2 形式審査

形式審査では、入札説明書、落札者決定基準、様式集及び発注仕様書に基づき、『①必要な書類が揃っているか』、また、『②様式集に従った形式を満たしているか』等、書類の有無、指定された形式の合否などの確認を行った。

形式審査の結果、技術提案書を提出した2社すべてが形式審査の要件を満足しており、表4のとおり合格とした。

なお、“さくら”からは、平成31年3月18日に辞退届が提出され、これを受理した。

表 4 形式審査結果

指定名称 審査項目	さくら	あじさい
必要な書類が揃っているか	○	○
様式集に従った形式を満たしているか	○	○
形式審査の結果	合格	合格

3 非価格要素審査

非価格要素に関する技術提案内容について、非価格要素提案書の内容に基づいた評価を行うとともに、入札参加者へのヒアリングを実施した。

その後、審査項目ごとに評価基準及び点数化方法に基づき、非価格要素点の算定を行った。

非価格要素点の算定結果は、表 5に示すとおりである。

表 5 非価格要素点の算定結果

審査項目		配点	あじさい
1. 施設計画に関する事項	①全体配置計画、車両動線計画	4	3.43
	②設備・機器等の配置計画、作業動線計画	6	4.71
	③施設の長寿命化対策	4	3.14
	④工事施工計画、品質管理計画	2	1.21
2. 安全・安定稼働に関する事項	①施設の安全稼働に関する実現方策	4	2.86
	②施設の強靱化対策、災害発生時の対処方策	4	3.14
	③処理対象物の量・質的変動への対応	8	5.43
3. 運転・維持管理に関する事項	①運転管理計画・運転指導計画	4	2.71
	②維持管理費・点検補修費の低減化対策	6	4.93
4. 環境負荷の削減、周辺環境・地域との調和に関する事項	①省エネルギー対策	4	2.86
	②周辺環境保全対策	6	4.50
	③施設の外観デザイン計画	2	1.43
5. 地域貢献等に関する事項	①地域経済への配慮・貢献	4	3.14
6. その他	①その他特筆すべき提案	2	1.21
非価格要素点 A		60	44.70

4 価格要素審査

価格要素審査を行うにあたり、入札価格が有効な入札価格（予定価格を超過する入札価格及び府中市低入札価格調査制度運営要綱に基づく適正な履行確保の基準のうち、数値的判断基準（工事費内訳での判断基準）を下回る入札価格を除く）であるかどうかの確認を行い、提示された入札価格は有効であることを確認した。

入札価格をもとに価格要素点を算出した。価格要素点の算定結果は表 6に示すとおりである。

表 6 価格要素点の算定結果

指定名称 審査項目	あじさい	最低入札価格	入札書比較価格
入札価格	1,600,000,000円	1,600,000,000円	1,656,974,000円
価格要素点 B	40.00点		

※消費税及び地方消費税額を含めない

5 総合評価

審査委員会は、非価格要素点と価格要素点を合計して総合評価値を算定し、表 7のとおり、あじさい（クボタ環境サービス株式会社中国支店）を落札者として選定した。

表 7 総合評価値の算定結果

指定名称 審査項目	あじさい
非価格要素審査点 A	44.70点
価格要素審査点 B	40.00点
総合評価値 A + B	84.70点

VI 審査講評

1 非価格要素提案に係る審査講評

非価格要素提案に係る審査講評は、すべて“あじさい”の内容であり、表 8に示すとおりである。

表 8 非価格要素提案に係る審査講評

審査項目	講評
1. 施設計画に関する事項	
①全体配置計画、車両動線計画	・施設内で通行する車両の動線の考え方や収集運搬車とその他の車両の交錯が極めて少ない動線計画を評価した。
②設備・機器等の配置計画、作業動線計画	・無駄のない作業動線とするための設備・機器配置や居室配置を評価した。
③施設の長寿命化対策	・適切な機器の材質等の選定や長寿命化に向けた計画策定に加え、稼働開始後のアフターフォロー体制を評価した。
④工事施工計画、品質管理計画	・工事中も稼働している環境センターに配慮した施工計画を評価した。
2. 安全・安定稼働に関する事項	
①施設の安全稼働に関する実現方策	・自動計測装置を用いた放流量や放流水質の管理、遠隔監視システムを用いた運転状況の監視等を評価した。
②施設の強靱化対策、災害発生時の対処方策	・想定を超えた災害発生時の対応策や災害発生時を含めた緊急時のバックアップ体制について評価した。
③処理対象物の量・質的変動への対応	・必要十分な機器能力の設定や性状が変動した場合でも安定的に脱水できるシステムの導入を評価した。
3. 運転・維持管理に関する事項	
①運転管理計画・運転指導計画	・既存施設と処理方式が異なることをふまえた運転指導やマニュアルの整備等を評価した。
②維持管理費・点検補修費の低減化対策	・薬品使用量を確実に最適化できる機能や用役使用量の推移を容易に確認できるシステムの導入を評価した。
4. 環境負荷の削減、周辺環境・地域との調和に関する事項	
①省エネルギー対策	・電力使用量の削減対策を評価した。
②周辺環境保全対策	・助燃剤運搬時の臭気対策や隣接事務所への配慮の内容を評価した。
③施設の外観デザイン計画	・周辺の自然環境や施設内の緑化を意識した基調色の採用や迷惑施設という印象を払拭する全体レイアウト等を評価した。
5. 地域貢献等に関する事項	
①地域経済への配慮・貢献	・市内業者への発注内容・金額・発注時期等を適切な時期に確認でき、かつ、履行内容を確実に把握できる仕組みを評価した。
6. その他	
①その他特筆すべき提案	・非常にタイトな期間で試運転を終えるための工夫を評価した。

2 総評

本工事の入札では、3社から入札参加資格確認申請書の提出があったが、入札参加資格審査結果の通知後、1社から辞退届が提出され、2社から技術提案書が提出された。2社とも、発注仕様を上回る非常に積極的な提案であったが、改善後技術提案書の提出後、さらに1社から辞退届が提出されたため、最終的に1社について審査を行った。

技術提案書を提出した2社においては、提案書類の作成等にあって、多大な労力と費用があったものと推察される。そのような中、提案をまとめられた熱意に敬意を表するとともに深く感謝する。

審査委員会では、落札者決定基準に基づき技術提案やヒアリング内容を踏まえた非価格要素の審査及び価格要素の審査を行い、公平かつ厳正に審査を行った結果、あじさい（クボタ環境サービス株式会社中国支店）を落札者として選定した。

あじさいの提案は、府中市が審査項目として掲げた「施設計画」、「安全・安定稼働」、「運転・維持管理」、「環境負荷の削減、周辺環境・地域との調和」、「地域貢献等」について深く検討されているものと判断した。特に評価が高かった項目は、『全体配置計画、車両動線計画』、『維持管理費・点検補修費の低減化対策』であった。

本工事を実施するにあたっては、発注仕様書及び提案内容を誠実かつ確実に履行するとともに、本工事の重要性に鑑み、特に次の事項への対応に努められることをお願いする。

- (1) 提案された内容の具体的な設計・施工にあたっては、府中市の意向を踏まえた上で実施すること。
- (2) 放流水質・水量、助燃剤の性状等を含めた施設の性能やライフサイクルコスト低減のための用役使用量・補修頻度等の提案内容を確実に実現させること。
- (3) 施設の長寿命化に向けた竣工後のアフターフォローや緊急時のバックアップを確実に行うこと。
- (4) 工事施工期間（試運転を含む）から、悪臭や騒音等について周辺への影響を最小化するように努めること。
- (5) 地域貢献に関する提案内容を確実に実行するとともに、地元発注額の増加に向け、さらなる努力を行うこと。

最後に、市とクボタ環境サービス株式会社中国支店が良きパートナーとなり、地元を含めた市民に対する信頼関係を構築するとともに、本工事が計画的かつ円滑に進むよう対応されることを期待する。

平成31年4月

(仮称)府中市環境センター施設整備工事総合評価審査委員会

委員長 西村 和之